

SYMPOSIUM

'Rethinking Imperial Histories from the Realm of In-between'

シンポジウム

<はざま>から再考する帝国史

2017年

日時

7月16日(日)

13:00 ~ 17:00

会場

同志社大学烏丸キャンパス志高館SK118

一昨年に刊行された駒込武『世界史のなかの台湾植民地支配—台南長老教中学校からの視座』(岩波書店、2015年)を足がかりとしながら、帝国史研究の新たな可能性を探ることを目的とする。台湾のキリスト教系学校である台南長老教中学校を、日本とイギリスの二つの帝国の<はざま>に位置づけて論じる駒込の研究をさまざまな角度から共同討議することで、複数の帝国をまたがった「間帝国」(trans-imperial)な領域において支配と被支配の関係性を問うていく。



主催：科学研究費・基盤研究C「イギリス帝国と近代日本—帝国的諸事業・思想の越境的伝搬と展開」(代表:吉村真美[森本真美])

共催：科学研究費・基盤研究B「間帝国的関係性からみた植民地支配と抵抗—比較・協力・並存・移動の史的構造」(代表:水谷智)

同志社大学人文科学研究所第19期第3研究「東アジアキリスト教伝道史基礎アーカイブズの研究」(代表:原誠)

同志社大学人文科学研究所部門研究・第19期第12研究「脱植民地化と植民地主義の現在」(代表:水谷智)

〈はざま〉から再考する帝国史

プログラム

開会の辞	13:00-13:05	森本真美 (神戸女子大学)
趣旨説明	13:05-13:15	水谷智 (同志社大学)
報告	13:15-13:35	水谷智 「英領インド史研究および『間帝国』研究の視点から」
	13:35-13:55	並河葉子 (神戸市外国語大学) 「イギリス宣教師研究の視点から」
	13:55-14:15	森本真美 「イギリス子ども・青少年期研究の視点から」
応答	14:15-15:30	駒込武 (京都大学)
休憩	15:30-15:45	
ディスカッション	15:45-17:00	ディスカッサント 木畑洋一 / 廉雲玉 / 田中智子
	16:30-17:00は	フロアに開放。

報告者

駒込武

Takeshi Komagome

京都大学大学院教育学研究科教授、台湾近現代史 / 教育史
『世界史のなかの台湾植民地支配—台南長老教中学校からの視座』(岩波書店、2015年)

森本(吉村)真美

Mami Morimoto-Yoshimura

神戸女子大学文学部教授、イギリス近代史・社会史 / 子ども期・子ども文化研究
「世紀転換期イギリスの少年雑誌にみる「日本」」
『ハルシオン—世界子ども学研究会紀要』第6号(2016年3月)

水谷智

Satoshi Mizutani

同志社大学グローバル地域文化学部教授、植民地研究 / イギリス帝国史
「Anti-Colonialism and the Contested Politics of Comparison: Rabindranath Tagore, Rash Behari Bose and Japanese colonialism in Korea in the inter-war period」,
Journal of Colonialism and Colonial History, vol.16, no.1 (2015)

並河葉子

Yoko Namikawa

神戸市外国語大学外国語学部教授、イギリス帝国史、ミッション史
「イギリス帝国と女性宣教師—19世紀後半における女子教育と学校—」,
駒込武・橋本伸也編著『帝国と学校』(昭和堂、2007年)

木畑洋一

Yoichi Kibata

東京大学・成城大学名誉教授、国際関係史 / イギリス帝国史
『イギリス帝国と帝国主義—比較と関係の視座』(有志舎、2008年)

廉雲玉

Woonok Yeom

高麗大学民族文化研究院研究教授、イギリス史
「Colonial Violence and Compensation: The Case of Mau Mau」,
The Korean Journal of British Studies, vol.34 (2015) [in Korean]

田中智子

Tomoko Tanaka

京都大学大学院教育学研究科准教授、日本近現代史 / 高等教育史
「駐日医療伝教士約翰別麗的“麻風病”観」(中国社会科学出版社『医療社会史研究』第三輯、2017年)